

入学式

新たな気持ちで胸に、勉学に励むことを誓った新入生たち 平成23年度入学式が厳かに挙行されました

福岡歯科大学

北村大学長の言葉に
「口腔医学」の重要性を
新入生たちも認識



新入生の入学を祝って、校歌を斉唱する
グリークラブのメンバーたち



入学にあたっての決意を述べる新入生代表・佐野大成さん



新入生への期待を込めて、
式辞を述べる北村憲司大学長

師』として、大きく成長され、日本の、そして世界のリーダーとして、新しい時代を先導してくださることを大いに期待します」と述べました。

福岡 岡歯科大学歯学部・大学院の平成23年度入学式は4月1日、来賓ならびにご家族の列席のもと、福岡歯科大学本館講堂で挙行されました。

緊張の面持ちの歯学部新入生に北村憲司大学長は、「医学、医療に興味を持ち、本学で歯科医師を目指す決心をされ、今日の入学式を迎えられた新入生の皆さんの決断に、心から敬意を表します」とともに、今日の決意を忘れずに学の研鑽に励んでいただきたいと思います。社会構造の変

化によって、歯科医療も今、大きく変わろうとしています。歯科医療は単に、歯の病気を治すために必要なのではなく、歯や口腔によってもたらされる豊かな表現、社会活動を円滑に行うために必要なものです。次代の国民の健康を守ることに、常に心を砕きながら、「口腔医学」という本学での学びの六年を過ごされることを切に希望します」と期待を込めて語りました。

また、大学院入学生に対しては、「歯科医療が生命科学の一分野として広がっていくためには、科学的思考に口腔医学としての再編が必要であり、その再編は皆さんの創造性と哲学性と倫理性に掛かっています。指導教授の情熱ある指導のもとに、新しい口腔医学の担い手として、臨床と研究を結ぶ洞察力を持った歯科医師」として、大きく成長され、日本の、そして世界のリーダーとして、新しい時代を先導してくださることを大いに期待します」と述べました。

福岡医療短期大学

高齢化社会における
口腔ケアの必要性を
認識した新入生たち



新入生あいさつは坂本未和さん(歯科衛生学科/左)と
杉山綱紀さん(保健福祉学科/右)が務めました



福岡 岡医療短期大学の平成23年度入学式は、キャンパスに桜が咲き誇る4月6日、福岡歯科大学本館講堂で執り行われました。式辞の中で相冨洋短大学長は、「本学は、他大学にはない特色として、

キャンパス内に医科歯科総合病院の他、介護老人保健施設、特別養護老人ホームの2つの施設を設置しており、そこで介護のできる歯科衛生士、口腔ケアもできる介護福祉士の養成に力を注いでおります。将来、皆さんは、知識や技術の修得だけでなく、口腔ケアの必要な患者さんや介護の必要なお年寄りに優しい心で福祉士になっていただきたい。また、専攻科に入学の皆さんは、日本で初めて認定された口腔保健学の学士取得のため、これから更に口腔ケアの高度な知識や技術を身に付けるとともに向上心と好奇心をもって、日本の歯科衛生士のレベルを更に引き上げていただきたいと思います」と述べ、希望に胸をふくらませた新入生にエールを送りました。



式辞を通して、新入生たちにエールを送る相冨洋短大学長